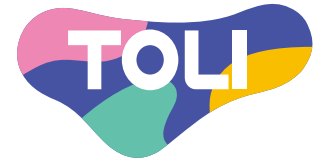


東リ株式会社



2026年3月期 決算説明会

2026年6月1日

2026年3月期 決算概要

1. 2026年3月期決算概要02
2. 事業セグメント別業績のポイント.....09

中期経営計画の進捗

3. 中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」.....12
4. 中期連結経営指標と実績14
5. 各成長戦略の進捗状況.....17

2027年3月期 通期業績見通し

6. 2027年3月期業績見通し.....22
7. 配当の実績推移と予想.....24



2026年3月期 決算概要

当社グループを取り巻く事業環境(2026年3月期)

国内建設市場動向

建築着工統計	新築(面積) (前年比 ※1)	リフォーム リニューアル(金額) (前年比 ※2)
住宅	▲5.8%	+16.3 %
非住宅	▲7.0%	+23.3 %
事務所	▲15.2%	+21.8 %
店舗・宿泊施設	▲1.6%	+19.0 %
学校	+6.3%	+20.8 %
医療・福祉施設	▲11.0%	+32.6 %

Point

- ▶ 建設コストの高止まり等を背景に、住宅・非住宅の新設着工床面積は減少。一方、オフィスや宿泊施設向けを中心に、リニューアル市場は堅調に推移。
- ▶ 新築が低調な一方、職場環境の改善志向は高く、リニューアルが活況。
- ▶ インバウンド需要に対応した宿泊向けリニューアルが好調に推移。
- ▶ 新築着工面積がわずかに回復。
- ▶ 新築着工面積の減少傾向が続く。

出典:国土交通省「建築着工統計調査」及び「建築物リフォーム・リニューアル調査」

※1 当社事業との関連指標として、住宅は7ヶ月、非住宅は9-12ヶ月後方ヘシフトさせた数値

※2 2025年4月～2025年12月累計の前年比

その他事業環境

さまざまな社会情勢を背景とした物価上昇

地政学リスクに端を発する経済活動の混乱

建設コストの高止まりや金利の上昇

Point

- ▶ 物価上昇圧力は依然強く、家計を圧迫。
- ▶ 原油調達環境の悪化など、2月末以降の世界経済は大きく混乱。
- ▶ 人手不足等も相まって、建設投資意欲に影響。

2026年3月期 連結決算概要

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

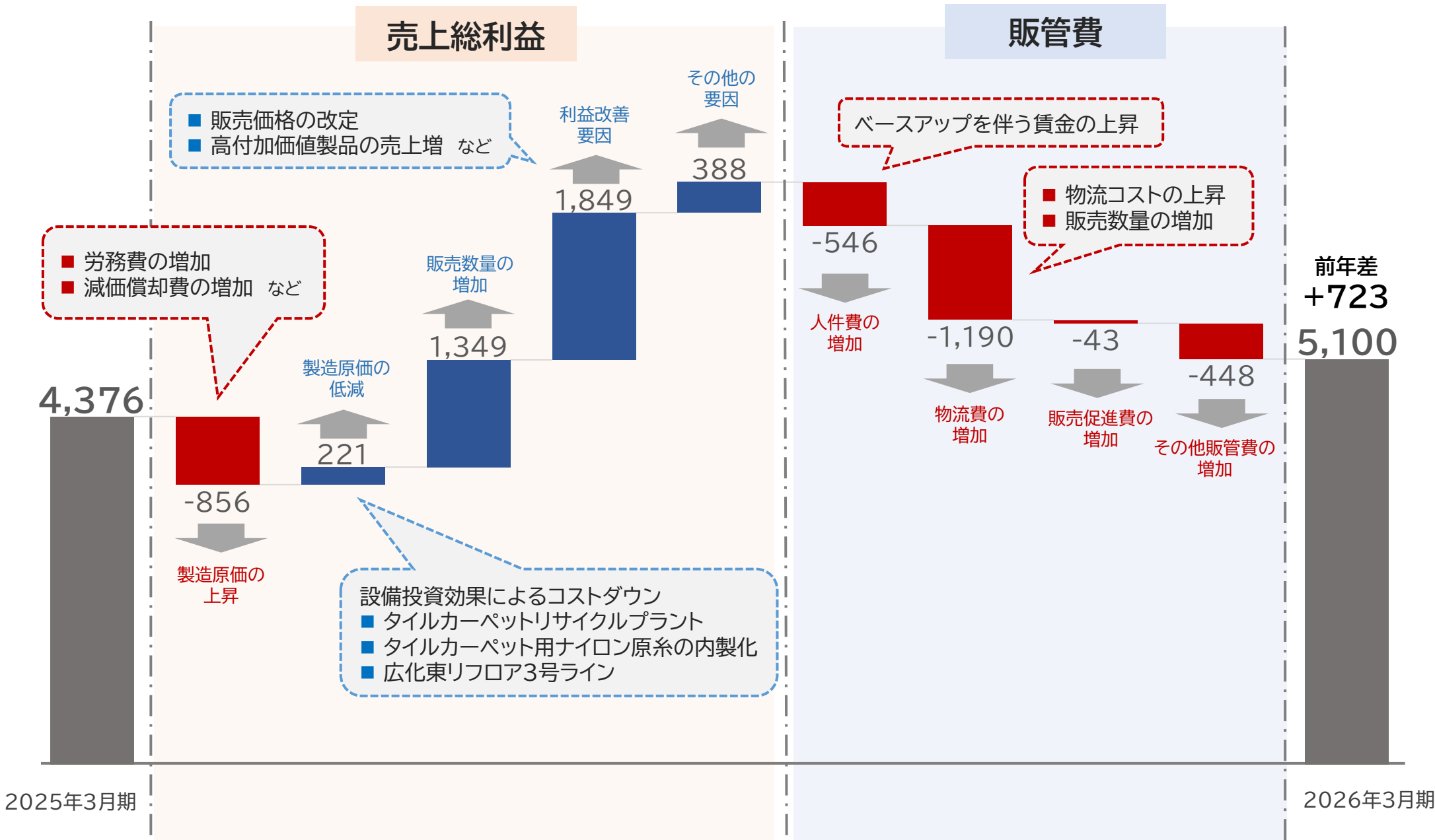
	2025年3月期	2026年3月期		
	実績	実績	前期比(%)	前期差
売上高	105,709	112,337	+ 6.3	+ 6,628
売上総利益 (売上高比率)	30,659 (29.0%)	33,610 (29.9%)	+ 9.6	+ 2,951
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	26,282 (24.9%)	28,510 (25.4%)	+ 8.5	+ 2,227
営業利益 (売上高比率)	4,376 (4.1%)	5,100 (4.5%)	+ 16.5	+ 723
経常利益 (売上高比率)	4,665 (4.4%)	5,733 (5.1%)	+ 22.9	+ 1,068
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高比率)	3,507 (3.3%)	4,459 (4.0%)	+ 27.1	+ 952

Point

- 当期並びに前期発売の新製品を中心とする販促活動に注力し、ビニル系床材や壁装材などの販売数量が伸長。
- 大型設備投資に伴う減価償却費の上昇に加え、物流コスト及び人件費などが増加。
- 増収効果並びに原価低減活動に加え、一部製品の販売価格改定が進展したことで、利益は前年を上回る。

連結営業利益 増減要因

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)



連結貸借対照表

資産

(単位: 億円 ※単位未満切り捨て)

流動資産 527	+13	流動資産 540
固定資産 413	+42	固定資産 455
2025年3月末		2026年3月末

Point

<流動資産>

- 現金及び預金の増加 +18
- 売掛債権の減少 ▲7 等

<固定資産>

- 有形固定資産の増加 +18 等

負債／純資産

(単位: 億円 ※単位未満切り捨て)

負債 456	+17	負債 474
純資産 483	+38	純資産 521
2025年3月末		2026年3月末

Point

<負債>

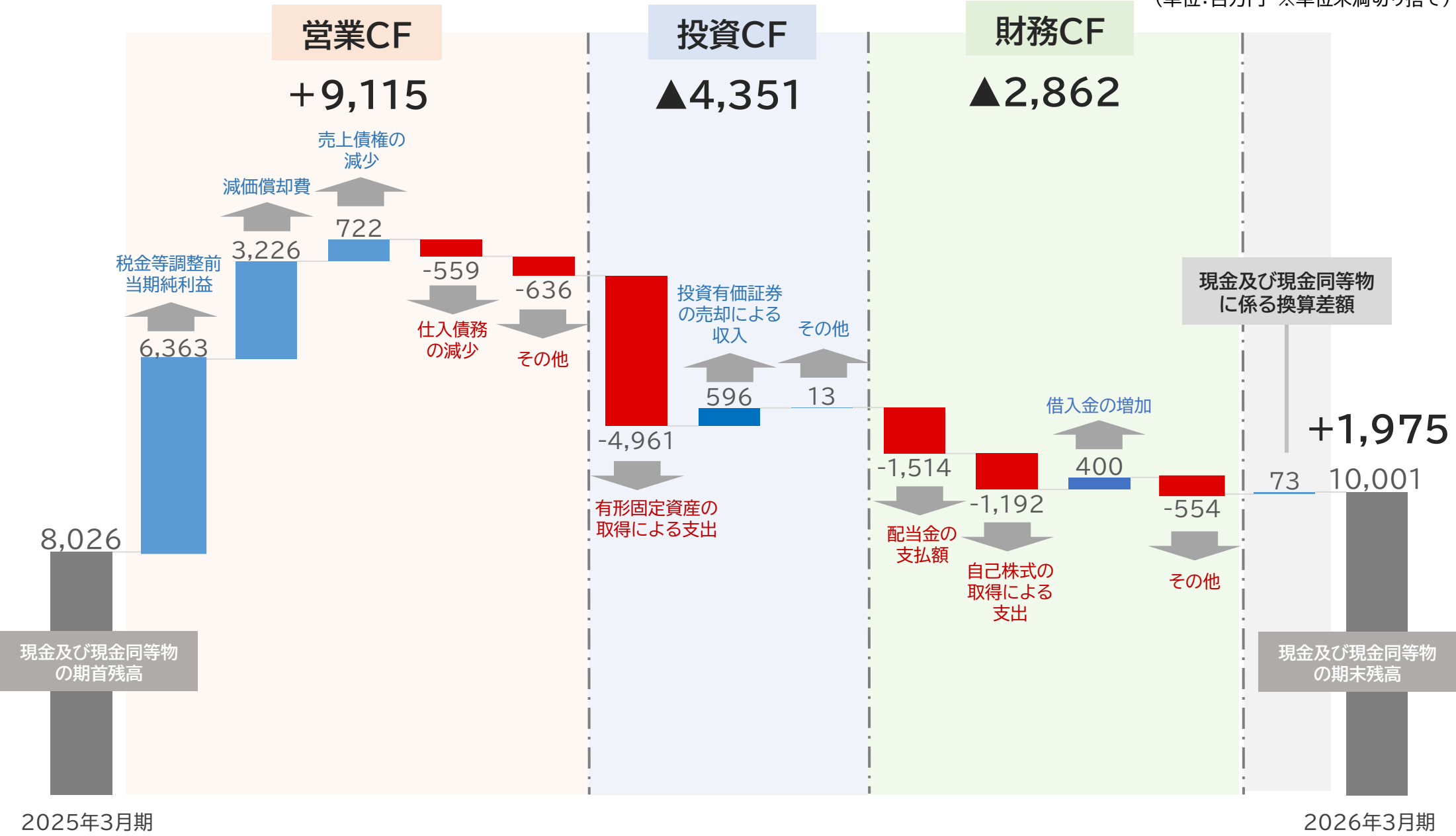
- 借入金の増加 +4
- 未払法人税等の増加 +7 等

<純資産>

- 利益剰余金の増加 +29 等

連結キャッシュフロー計算書

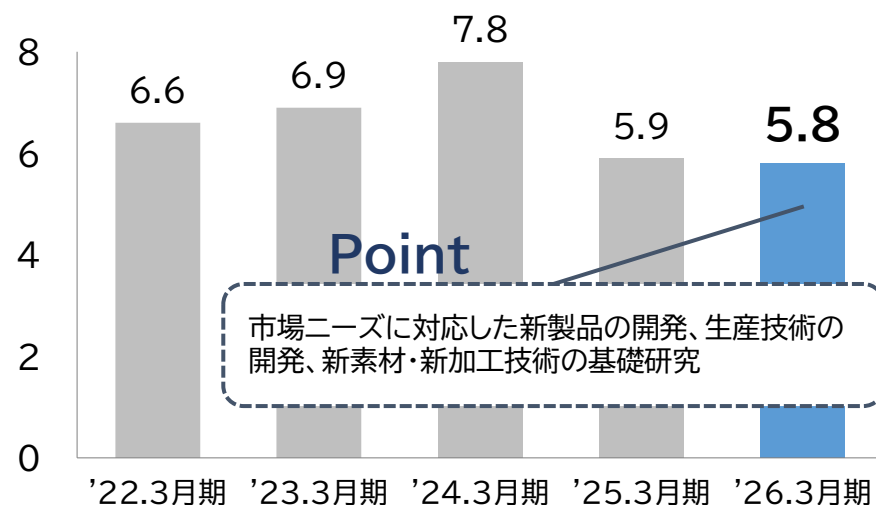
(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)



各種経営指標

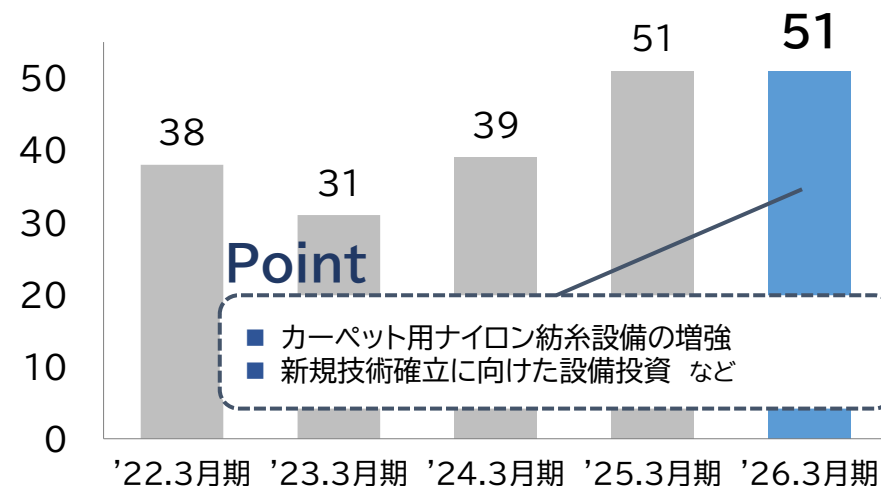
研究開発費

(億円)



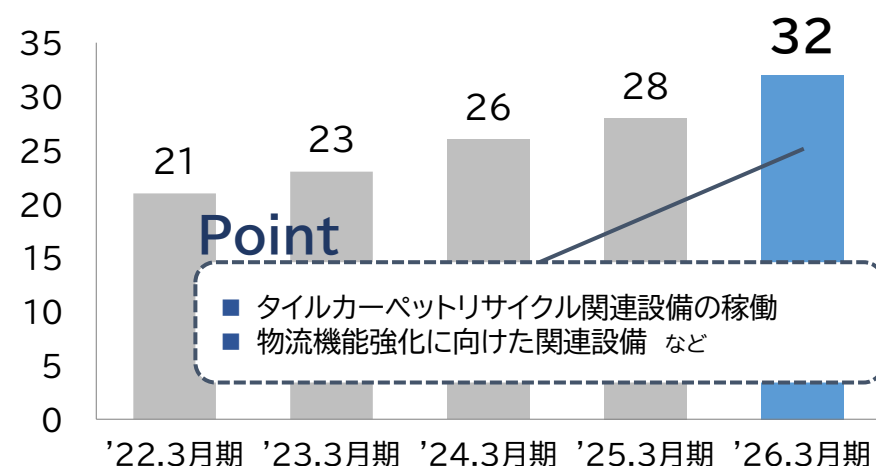
設備投資額

(億円)



減価償却費

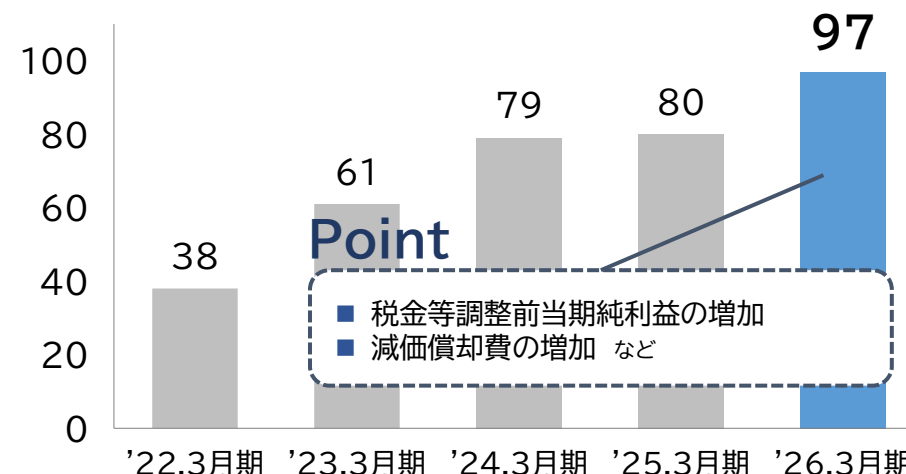
(億円)



※キャッシュ・フローベース

EBITDA

(億円)



※EBITDA：税金等調整前当期純利益－受取利息＋支払利息＋減価償却費＋減損損失

2026年3月期 事業セグメント別業績のポイント

インテリア事業

売上高

107,231百万円
前期比(+6.5%)

セグメント
利益

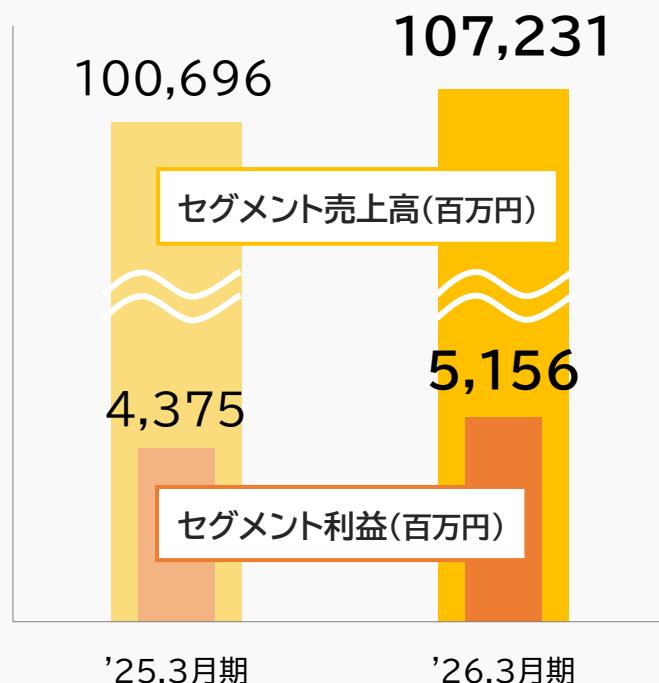
5,156百万円
前期比(+17.8%)

事業
内容

- 東リブランド製品の製造販売
- 各種インテリア資材の仕入販売
- 内装工事 等

26
・
3
月
期
ポ
イ
ン
ト

- ビニル系床材と壁装材を中心に販売数量が伸長。
- 「GA-3600 サスティブバック」(全点自社内製系使用)や、不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」などの独自製品を拡充。
- 増収効果並びに製造原価の低減、一部製品の上代価格改定による販売価格の底上げが進展。



2026年3月期 事業セグメント別業績のポイント

グローバル事業

売上高

2,321百万円
前期比(▲5.8%)

セグメント
利益

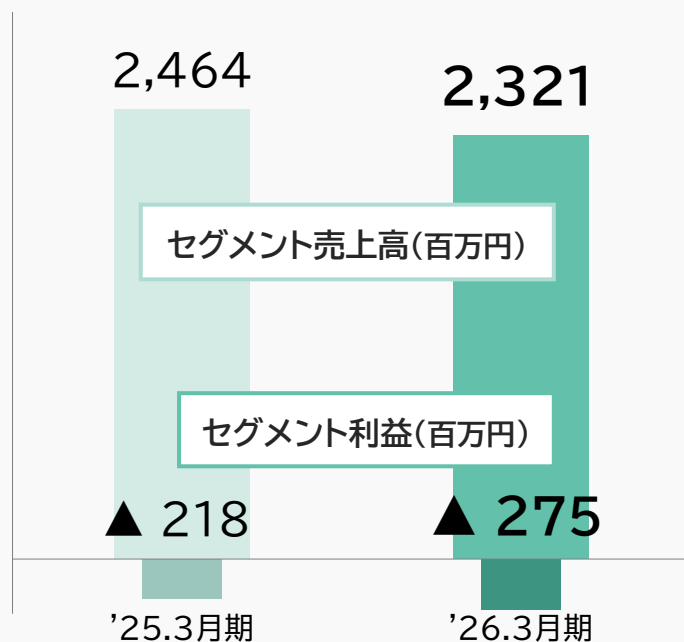
▲275百万円
(前期:▲218百万円)

事業
内容

- 東リブランド製品を中心とする輸出販売

26
・
3
月
期
ポ
イ
ン
ト

- 主力の中国・北米市場は、建設投資の伸び悩みにより低調に推移。
- ASEANでは売上が前年を上回ったものの、中東・インド・オセアニア地区は売上が伸び悩む。
- 売上高の減少に加え、輸送コストの上昇などにより、セグメント損失は前年を上回る。



2026年3月期 事業セグメント別業績のポイント

建材その他事業

売上高

4,993百万円
前期比(+1.8%)

セグメント
利益

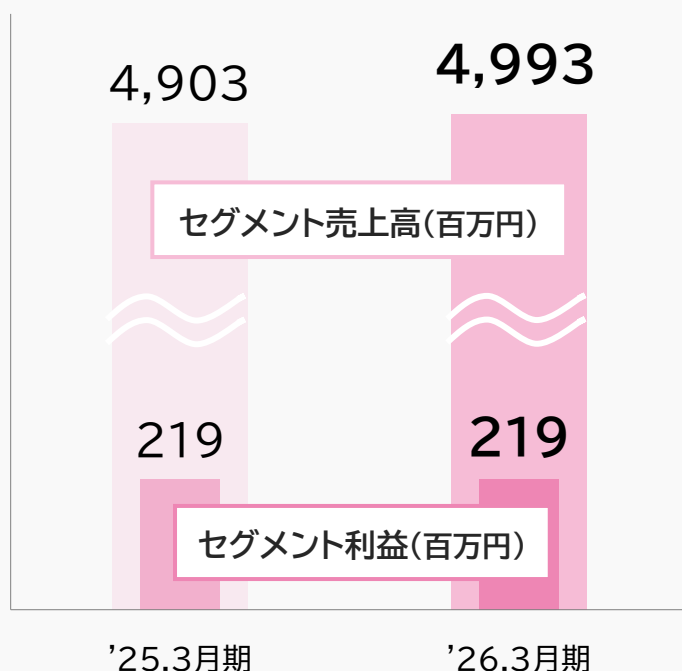
219百万円
前期比(▲0.1%)

事業
内容

- 業際分野及び産業資材向け
東リブランド製品の製造販売
- 各種建材及び住設機器等の仕入れ販売 等

26
・
3
月
期
ポ
イ
ン
ト

- 浴室向けビニル床シート「バスナシリーズ」が好調に推移。
- プールサイド・半屋外用途向けの防滑性ビニル床シート「NS遮熱ガーデント」を新発売。
- 卓球やバレーボール、カーリング等のスポーツ分野における製品開発・販路拡大が進展。
- 新設住宅市場が低調に推移したことにより、建材及び住設機器の仕入れ販売は前年を下回る。



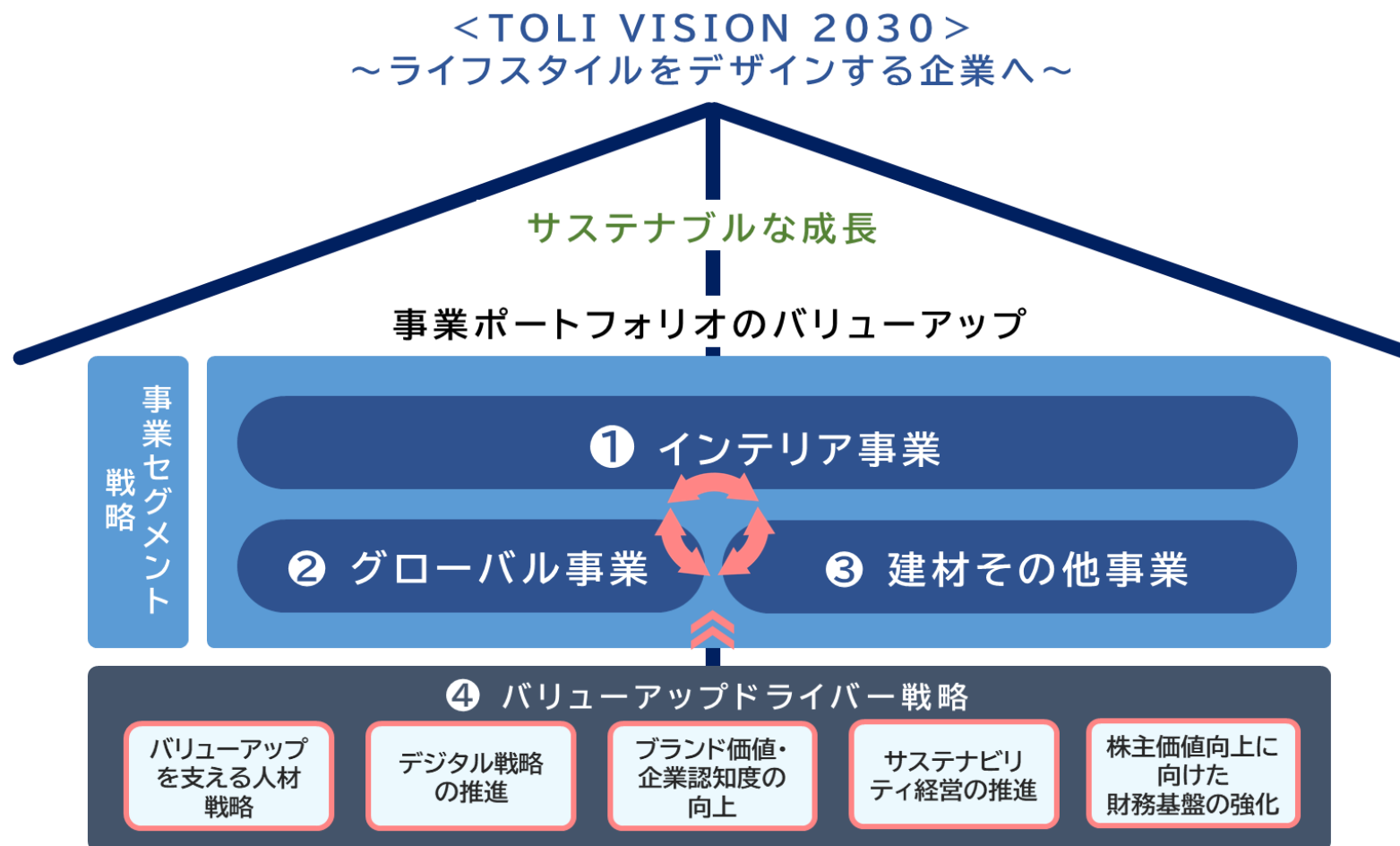


「SHINKA Plus ONE 2.0」進捗

中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」の概要

成長戦略の全体概要

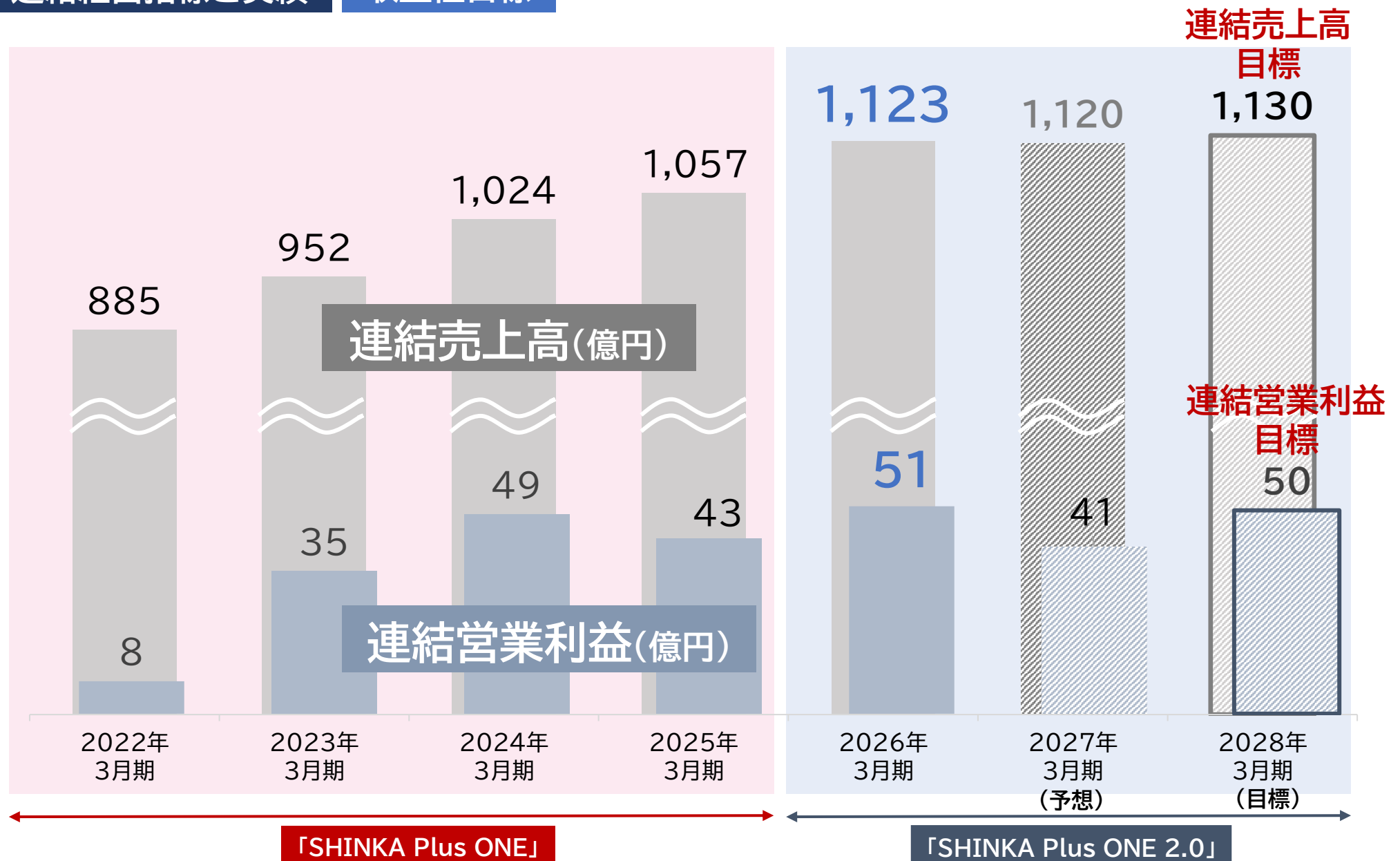
- ▶ 3つの事業セグメントに基づく実行戦略を推進
- ▶ 事業セグメントの成長を支える経営基盤の強化(バリューアップドライバー戦略)
- ▶ 事業ポートフォリオのバリューアップを図り、サステナブルな成長を目指す



中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」

連結経営指標と実績

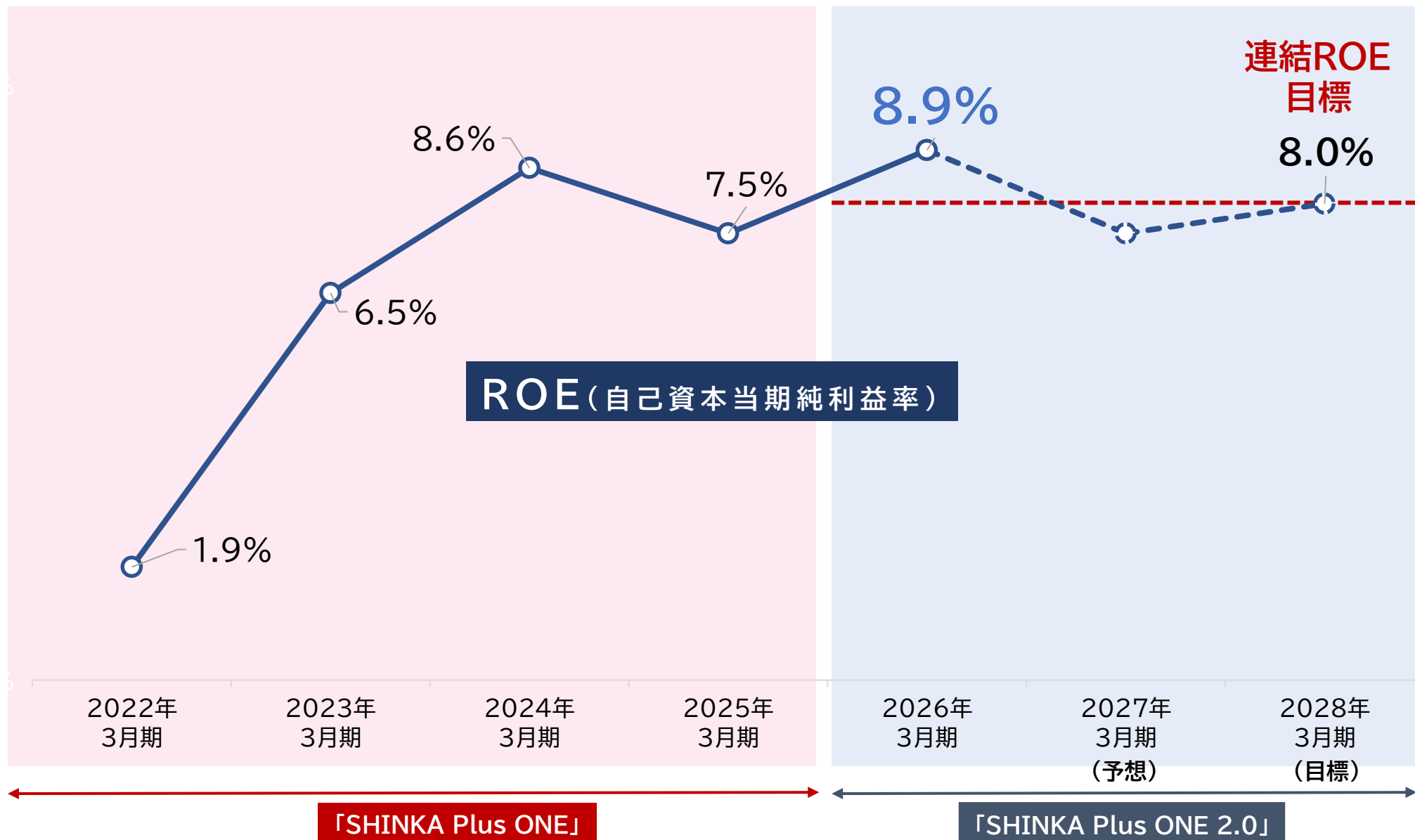
収益性目標



中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」

連結経営指標と実績

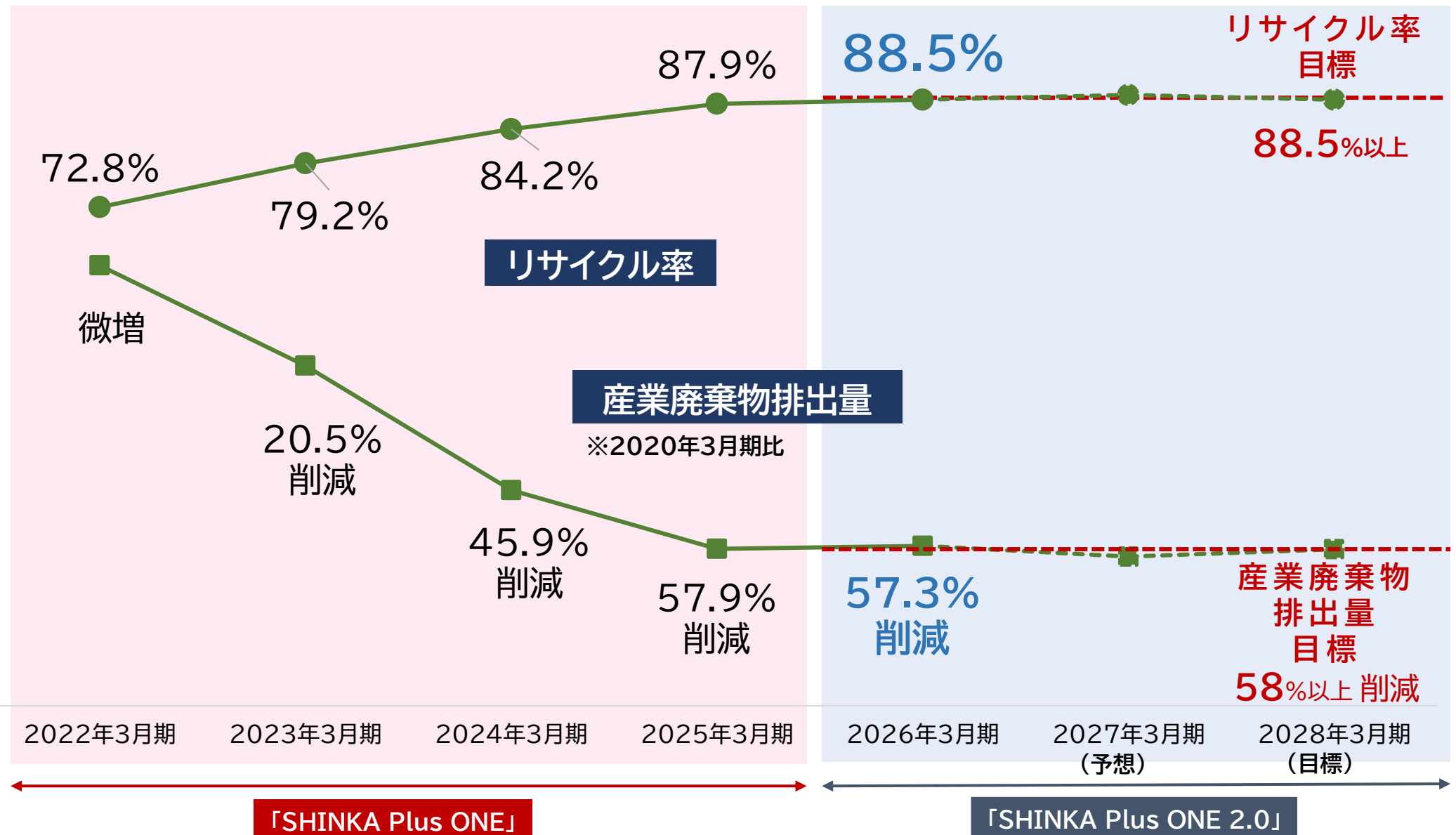
効率性目標



中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」

連結経営指標と実績

環境負荷低減目標



カーペット分野における新たな投資設備と投資効果の最大化

滋賀事業所(滋賀県蒲生郡)

- 「カーペットナイロン用紡糸設備」
- ・1～3号機の安定稼働(2025年度)
 - ・4号機の本格稼働(2026年春以降)



内製化戦略が質・量ともに拡大中

10月に発売した
「GA-3600 サスティブバック」では
全点自社内製ナイロン糸を使用(10柄67アイテム)

滋賀事業所(滋賀県蒲生郡)

- ・広域認定追加取得

使用済みタイルカーペットの
回収エリア拡大

厚木事業所(神奈川県厚木市)

- ・中間処理設備の効率化

回収した使用済み
タイルカーペットの処理効率化

環境対応型タイルカーペットバック
「サスティブバック」

- ・2025年度 グッドデザイン賞受賞

業際分野製品の開発と販売チャネルの開拓

グループの技術力・製造力・提案力を最大限に活用し、
新たな分野に向けた製品開発や販売チャネルの開拓が進展

スポーツ市場分野への取り組みトピックス

卓球競技



競技運営者の負担軽減と魅力ある競技空間を演出

- ・卓球「Tリーグ」とのオフィシャルフロアマットパートナー契約を締結し、「コネクトマットT」が男子・女子の試合で使用（2025-の3シーズン）
- ・裏面の特殊吸着フォームにより、試合会場ごとに手軽に施工・撤去が可能

カーリング競技



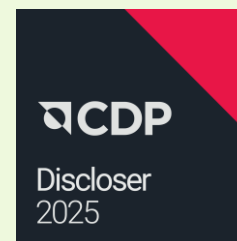
競技の基本動作を室内で手軽に練習可能

- ・特殊配合樹脂による“滑る床材”「高摺動（低摩擦）床材」
- ・シート形状のため、設置が容易であり、専用施設以外でも練習可能

持続可能な社会に向けた取り組み

01. CDP気候変動質問書において 3年連続で「B」スコア(*)を獲得

* 8段階で評価(A, A-, B, B-, C, C-, D, D-)



<関連するESG項目>

地球環境

事業活動

02. サステナビリティ評価EcoVadisにおいて 「コミットメント・バッジ」を取得



<関連するESG項目>

地球環境

人権

雇用労働

事業活動

品質

企業統治

03. 「96%バイオマススタイル」が国際表彰 「Inovyn Awards 2025」で銀賞受賞



<関連するESG項目>

地球環境

事業活動

04. 子育て支援に積極的な企業として 「くるみん認定」を取得



<関連するESG項目>

雇用労働

人権

事業活動

株主価値向上に向けた財務基盤の強化

キャピタルアロケーション計画の進捗(3ヶ年計画及び進捗)

キャッシュイン

キャッシュアウト

2026年3月期の主な項目

営業
キャッシュフロー
約175～210億円

2026年3月期 実績
91億円

+

資金調達※1

借入金(2026年3月期)
4億円

政策保有株式
の縮減※2 等
約20～25億円

2026年3月期 実績
5億円

成長及び
環境貢献への投資
約70～90億円

2026年3月期 実績
25億円

BCP対策・
経常設備投資
約60～70億円

2026年3月期 実績
27億円

株主還元
約65～75億円

2026年3月期 実績
27億円

- カーペット用ナイロン紡糸設備の拡充
- 新規技術確立に向けた新ラインへの投資 等

- 各生産ラインの合理化
- 人手不足に対応した省人化設備の導入 等

- 年間34円の配当を予定
- 2026年2月に自己株式を取得

※1 今後の成長・環境投資等の資金需要に応じた借入金等の資金調達も想定

※2 政策保有株式の縮減方針: 連結純資産に対する政策保有株式の比率を2028年3月末までに10%以下に縮減

■株主様向け伊丹本社見学ツアーの開催

【開催日】2025年11月27日(木) 【場 所】東リ株式会社 伊丹事業所

【内 容】製品説明、工場見学、インテリア歴史館見学、意見交換 など



▲意見交換会の様子



▲カーペット染色工程の見学

【頂戴したご質問】

- ・リサイクル材の回収拡大に向けた取り組みについて
- ・業界における技能士の充足度や、不足した場合の対応策について
- ・世界基準で見たときの、事業分野における東リの技術レベルについて
- ・社外取締役から見た東りの評価について

など



2027年3月期 業績見通し

2027年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

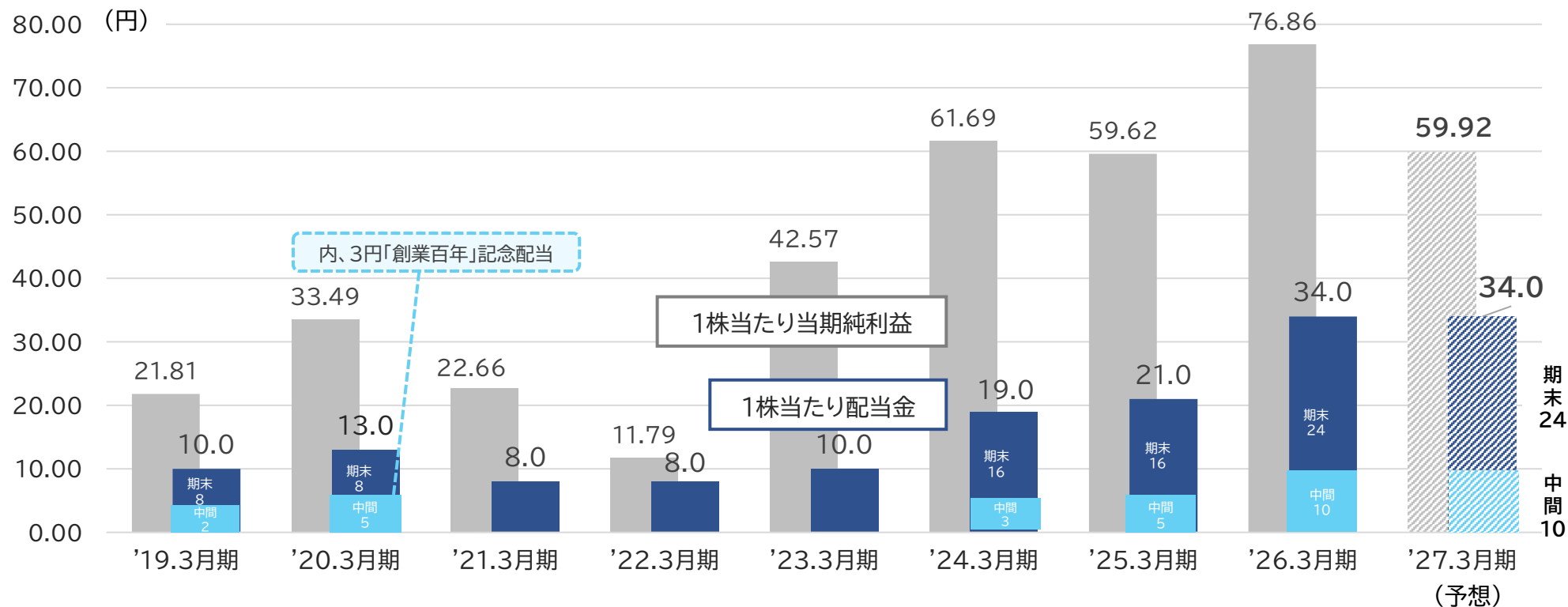
	2026年3月期		2027年3月期			
	上期 (4-9月)	通期	上期(4-9月)		通期	前期比(%)
				前期比(%)		
売上高	52,292	112,337	52,000	▲ 0.6	112,000	▲ 0.3
営業利益	1,399	5,100	700	▲ 50.0	4,100	▲ 19.6
経常利益	1,710	5,733	900	▲ 47.4	4,500	▲ 21.5
親会社株主に帰属する 中間期／当期純利益	1,090	4,459	700	▲ 35.8	3,400	▲ 23.8

Point

- 地政学リスクの高まりによる原材料調達環境の悪化が懸念事項であり、その対応が重要な課題。
- きめ細かな販促活動によるシェア拡大を目指す一方、不安定な経済社会環境を鑑み、売上高は前期と同水準を想定。
- 4月以降、原材料価格が急騰しており、収益環境は悪化する見通し。急激な事業環境の変化に対応すべく、販売価格の改定(7月27日受注分より)を予定するも、後追いの価格改定となり、当期は大幅な減益を見込む。

配当の実績推移と予想

配当金推移(円)



- 中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中(2026年3月期～2028年3月期)の株主配当については、連結配当性向50%、又はDOE3.5%を目安に安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当金は19円を下限とする方針。
- 2027年3月期の1株当たり年間配当金は、1株当たり34円を予定。

将来見通し等に関する注意事項



IRに関する
お問い合わせ先

東リ株式会社
経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



APPENDIX

会社名

東リ株式会社



業態	インテリア商品の製造及び販売
創業	1919年(大正8年)12月1日
本社所在地	兵庫県伊丹市東有岡5丁目125番地
売上高	連結 1,123億37百万円(2026/3月期)
経常利益	連結 57億33百万円(2026/3月期)

親会社株主に帰属する 当期純利益	連結 44億59百万円(2026/3月期)
資本金	連結 68億55百万円(2026/3月期)
従業員数	連結 1,940名 個別 920名
証券コード	7971 東証スタンダード

東リグループの事業体系

